

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
英語	平成20年度	松林 嘉熙	5	通年	学修単位2	必

[授業のねらい]

大学入試における長文問題には、広く社会一般の今日的话题に迫るものが多い。卒業をむかえる5年次、必修教科としての英語の学習を、ひろく社会文化情報に接する機会とし、その読解力の向上支援を通じて、技術者としての視野の広範化に資したい。

[授業の内容]

全ての週の内容は、学習・教育目標(A)〈視野〉(C)〈英語〉および JABEE 基準 1(1)(a)(f)の項目に相当する。

前期 (テキスト *Move 1* 使用)

- 第 1 週 授業の進め方, 成績評価方法について
- 第 2 週 L1 初対面の挨拶
- 第 3 週 L2 会話の際の快適な距離
- 第 4 週 L3 カルチャーショック
- 第 5 週 L4 アメリカ人のユーモア
- 第 6 週 L5 アメリカ社会の変化
- 第 7 週 L6 アメリカ人の移動性
- 第 8 週 中間試験
- 第 9 週 L7 人間は機械に使われていないか
- 第 10 週 L8 パソコンとどうつきあうか
- 第 11 週 L9 チェス
- 第 12 週 L10 拡大家族と核家族
- 第 13 週 L11 専業主夫のむつきさ
- 第 14 週 L12 両親にいいたいこと
- 第 15 週 L13 先進国と発展途上国
- 第 16 週 L14 地球環境に対する人類の責任
- 第 17 週 期末試験

後期 (テキスト *Move 2* 使用)

- 第 1 週 学習の進め方について
- 第 2 週 L1 銃文化
- 第 3 週 L2 移民の国
- 第 4 週 L3 アメリカ人のプライバシー
- 第 5 週 L4 英米人の会話
- 第 6 週 L5 集団志向の社会
- 第 7 週 L6 日本人のもつ特異意識
- 第 8 週 中間試験
- 第 9 週 L7 真の国際人
- 第 10 週 L8 高齢化社会
- 第 11 週 L9 福祉とは何か
- 第 12 週 L10 安楽死
- 第 13 週 L11 叱ることとほめること
- 第 14 週 L12 三つ子の魂、百まで
- 第 15 週 L13 思春期の若者
- 第 16 週 L14 教育のあるべき姿
- 第 17 週 期末試験

(次ページにつづく)

(次ページにつづく)

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
英語（つづき）	平成20年度	松林 嘉熙	5	通年	学修単位2	必

<p>[この授業で習得する「知識・能力」]</p> <p>1. 英文の概要を理解できる。(A) &lt;視野&gt; , C &lt;英語&gt;</p> <p>2. 内容に関する英問に対し, 適切な表現で答えることができる。 C &lt;英語&gt;</p> <p>3. 単語・熟語の意味および慣用表現が理解できる。C &lt;英語&gt;</p>	<p>4. 英語表現のいくつかを応用して適切な英語表現ができる。 C &lt;英語&gt;</p> <p>6. 既習の英文を, 内容が伝わる程度に朗読できる。 &lt;英語&gt;</p>
<p>[この授業の達成目標]</p> <p>社会, 文化などに関する英文の概要を理解する読解力・聴解力, 英文の内容を要約して第三者に伝えたり, 内容に関する質問に答えたりできる日本語および英語でのコミュニケーション能力を身につけている。</p>	<p>[達成目標の評価方法と基準]</p> <p>3技能(読む・書く・聞く)に関する「知識・能力」1～5の確認を小テストおよび中間試験, 期末試験で行う。1～6に関する重みはほぼ均等。合計点の60%の得点で, 目標達成の確認ができる試験を課す。</p>
<p>[注意事項]</p> <p>語法に関する自主的学習成果を毎授業時に確認するため, 『コンパクト英語構文90』を活用し, 計画的に自主学習を進めること。また, テキスト以外でも自ら進んで多くの英語に触れること。</p>	
<p>[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] 英語 ~ 英語 で身につけた英語運用能力および語彙</p>	
<p>[自己学習]</p> <p>授業で保証する学習時間と, 予習・復習(中間試験, 定期試験, 小テストのための学習も含む)に必要な標準的な学習時間の総計が, 90時間に相当する学習内容である。</p>	
<p>[教科書] <i>Move 1, Move 2.</i> (第一学習社) コンパクト英語構文90 (チャート)</p>	
<p>[学業成績の評価方法および評価基準]</p> <p>前期中間・前期末・後期中間・学年末の試験結果を50%, 小テスト等の結果を50%として, それぞれの期間毎に評価し, これらの平均値を最終評価とする。</p> <p>前期中間・前期末・後期中間のそれぞれの評価で60点に達していない学生については再試験を行う場合がある。再試験の成績が該当する期間の成績を上回った場合には, 60点を上限として成績を置き換える。学年末試験については再試験を行わない。</p> <p>[単位修得要件]</p> <p>学業成績で60点以上を取得すること。</p>	

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
実用英語	平成20年度	Mike Lawson	5	前期	学修単位1	選

[ 授業のねらい ]

The objective of this course is to help students acquire the ability to understand lectures given in English. This will be achieved by providing students with an introduction to the basic concepts of sociology using English.

[ 授業の内容 ]

The following content conforms to the learning and educational goals:

(A) <Perspective> [JABEE Standard 1(1)(a)], and (C) <English>

[JABEE Standard 1(1)f].

First Semester

Week

- 1 Introduction to the course
- 2 The Sociological Perspective
- 3 Culture
- 4 Culture
- 5 Socialization
- 6 Socialization

- 7 REVIEW
- 8 MIDTERM EXAM
- 9 Social Deviance and Social Control
- 10 Social Deviance and Social Control
- 11 Social Class and Social Stratification
- 12 Social Class and Social Stratification
- 13 Race and Ethnicity
- 14 Gender
- 15 Gender
- 16 Students' topic of interest

[ この授業で習得する「知識・能力」 ]

1. Students will acquire the ability to understand lectures given in English while learning basic sociological concepts.

2. The concepts covered will include social interaction, social groups, age and sex, families and religion, education and work, and social change.

[ この授業の達成目標 ]

The objective of this course is to provide students with the ability to understand lectures given in English.

[ 達成目標の評価方法と基準 ]

Students' ability to understand lectures given in English will be evaluated through the use of two exams (one midterm exam and one final exam) concerning basic sociological concepts. Students will have attained the goal provided that they have earned 60% of the total points possible for this course.

[ 注意事項 ]

Please visit my website (<http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/genl/Lawson/>) for information related to this class.

Please visit our Internet website "English-Muscle" at <http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/engcom/> for fun English-learning activities.

You may contact me at any time at either of the two following email address: [lawson@genl.suzuka-ct.ac.jp](mailto:lawson@genl.suzuka-ct.ac.jp), [lawson40@gmail.com](mailto:lawson40@gmail.com).

There will be no text for this course. Exams will be based on handouts and weekly presentations from the instructor.

[ あらかじめ要求される基礎知識の範囲 ]

A good command of basic English syntax; a practical level of reading and listening comprehension, and some ability to converse in English.

[ 自己学習 ]

The total time necessary for students to acquire an understanding of the course is 45 hours, including classroom time and study time outside of the classroom.

教科書 : Material as distributed in class.

[ 学業成績の評価方法および評価基準 ]

Grades will be based on the following percentages: 50% Midterm Exam and 50% Final Exam.

[ 単位修得要件 ]

Students must obtain at least 60% of the total possible points in order to receive 1 credit.

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
実用英語	平成20年度	Mike Lawson	5	後期	学修単位 1	選

[ 授業のねらい ]

The objective of this course is to help students acquire the ability to understand lectures given in English. This will be achieved by providing students with an introduction to the basic concepts of sociology using English.

[ 授業の内容 ]

The following content conforms to the learning and educational goals:

(A) <Perspective> [JABEE Standard 1(1)(a)], and (C) <English>

[JABEE Standard 1(1)f].

Second Semester

Week

- 1 Introduction to the course
- 2 Social Interaction
- 3 Social Interaction
- 4 Social Groups
- 5 Social Groups
- 6 Age and Sex

- 7 REVIEW
- 8 MIDTERM EXAM
- 9 Families and Religion
- 10 Families and Religion
- 11 Education and Work
- 12 Social Change
- 13 Social Change
- 14 Students' topic of interest
- 15 Students' topic of interest
- 16 REVIEW

[ この授業で習得する「知識・能力」 ]

1. Students will acquire the ability to understand lectures given in English while learning basic sociological concepts.

2. The concepts covered will include social interaction, social groups, age and sex, families and religion, education and work, and social change.

[ この授業の達成目標 ]

The objective of this course is to provide students with the ability to understand lectures given in English.

[ 達成目標の評価方法と基準 ]

Students' ability to understand lectures given in English will be evaluated through the use of two exams (one midterm exam and one final exam) concerning basic sociological concepts. Students will have attained the goal provided that they have earned 60% of the total points possible for this course.

[ 注意事項 ]

Please visit my website (<http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/genl/Lawson/>) for information related to this class.

Please visit our Internet website "English-Muscle" at <http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/engcom/> for fun English-learning activities.

You may contact me at any time at either of the two following email address: [lawson@genl.suzuka-ct.ac.jp](mailto:lawson@genl.suzuka-ct.ac.jp), [lawson40@gmail.com](mailto:lawson40@gmail.com).

There will be no text for this course. Exams will be based on handouts and weekly presentations from the instructor.

[ あらかじめ要求される基礎知識の範囲 ]

A good command of basic English syntax; a practical level of reading and listening comprehension, and some ability to converse in English.

[ 自己学習 ]

The total time necessary for students to acquire an understanding of the course is 45 hours, including classroom time and study time outside of the classroom.

教科書 : Material as distributed in class.

[ 学業成績の評価方法および評価基準 ]

Grades will be based on the following percentages: 50% Midterm Exam and 50% Final Exam.

[ 単位修得要件 ]

Students must obtain at least 60% of the total possible points in order to receive 1 credit.

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
欧米文化論	平成 20 年度	竹野富之	5	前期	学修単位 1	選

[ 授業のねらい ]

グローバル化に適応・対応できるよう異文化理解の重要性を認識させ、違いを受け入れる姿勢を養う。そのために様々な分野から欧米文化の背景や歴史の流れを説明し日本とも比較しながら考察する。

[ 授業の内容 ]

全体の週において、学習・教育目標 ( A ) ( 視野 ) と、JABEE 基準 1 ( 1 ) ( a ) に該当する内容を講義する。

第 1 週 イントロダクション

第 2 週 文化とは何か(1) 西洋人にとっての異文化理解

第 3 週 文化とは何か(2) 自民族中心主義について

第 4 週 西洋哲学入門(1) ギリシャ哲学

第 5 週 西洋哲学入門(2) 啓蒙思想家

第 6 週 西洋哲学入門(3) 近代哲学

第 7 週 西洋哲学入門(4) 現代の西洋哲学

第 8 週 中間試験

第 9 週 キリスト教の歴史(1) キリスト教の成立

第 10 週 キリスト教の歴史(2) キリスト教の教義

第 11 週 キリスト教の歴史(3) 十字軍の遠征

第 12 週 キリスト教の歴史(4) 宗教改革と資本主義

第 13 週 キリスト教の歴史(5) キリスト教とイスラーム

第 14 週 国民国家とは何か(1) 印刷技術の発展と国民意識

第 15 週 国民国家とは何か(2) 「想像の共同体」

第 16 週 国民国家とは何か(3) 日本の近代国家体制

[ この授業で習得する「知識・能力」 ]

1. 現在の欧米文化の元となる背景を理解している。

2. それぞれの文化のかたち・特色を知っている。

3. 文化研究の方法論を知っている。

4. 言語の重要性を認識し、社会人向けの英語を身につけている。

[ この授業の達成目標 ]

言語の重要性を認識し、欧米諸国の背景や歴史を踏まえ、それぞれの文化の具体的な形を理解している。

[ 達成目標の評価方法と基準 ]

上記の[知識・能力] 1～4 を網羅した問題を各定期試験とレポートで出題し、目標の達成度を評価する。達成度評価における各[知識・能力]の重みの目安は 1, 2, 4 を 30%, 3 を 10% とする。合計点 60% の得点で、目標の達成を確認できるレベルの試験を課す。

[ 注意事項 ] 授業中適宜に課題を与え、レポートを提出してもらう。

[ あらかじめ要求される基礎知識の範囲 ] 特になし。

[ 自己学習 ]

授業で保証する学習時間と予習・復習(中間試験と定期試験のための学習も含む)及び課題・レポート作成に必要な標準的な学習時間の総計が 45 時間に相当する学習内容である。

教科書：なし

参考書：適宜紹介

[ 学業成績の評価方法および評価基準 ]

前期中間、前期末の 2 回の試験の平均点を 70%, 課題(レポート) 30% として評価する。

[ 単位修得要件 ]

与えられたレポートを提出し、学業成績で 60 点以上を取得すること。

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
欧米文化論	平成 20 年度	竹野富之	5	後期	学修単位 1	選

<p>[ 授業のねらい ]</p> <p>グローバル化に適応・対応できるよう異文化理解の重要性を認識させ、違いを受け入れる姿勢を養う。そのために様々な分野から欧米文化の背景や歴史の流れを説明し日本とも比較しながら考察する。</p>	
<p>[ 授業の内容 ]</p> <p>全体の週において、学習・教育目標 ( A ) ( 視野 ) と、JABEE 基準 1 ( 1 ) ( a ) に該当する内容を講義する。</p> <p>【 後期 】</p> <p>第 1 週 西洋人のバリ文化理解 ( 1 ) バリ島文化の紹介</p> <p>第 2 週 西洋人のバリ文化理解 ( 2 ) 楽園バリのイメージ</p> <p>第 3 週 西洋人のバリ文化理解 ( 3 ) オランダによる植民地化</p> <p>第 4 週 西洋人のバリ文化理解 ( 4 ) 観光地産業の発展</p> <p>第 5 週 遊牧民文化とキリスト教 ( 1 ) 遊牧の技術</p> <p>第 6 週 遊牧民文化とキリスト教 ( 2 ) 去勢誘導羊の利用</p> <p>第 7 週 遊牧民文化とキリスト教 ( 3 ) キリスト教と遊牧</p> <p>第 8 週 中間試験</p>	<p>第 9 週 アメリカ合衆国論 ( 1 ) プラグマティズム</p> <p>第 1 0 週 アメリカ合衆国論 ( 2 ) 競争社会、民主主義</p> <p>第 1 1 週 9.11 以降のアメリカ合衆国 ( 1 )</p> <p>第 1 2 週 9.11 以降のアメリカ合衆国 ( 2 )</p> <p>第 1 3 週 「文明の衝突」を考える ( 1 )</p> <p>第 1 4 週 「文明の衝突」を考える ( 2 )</p> <p>第 1 5 週 今後の日本とアメリカ合衆国の関係について</p> <p>第 1 6 週 まとめ</p>
<p>[ この授業で習得する「知識・能力」 ]</p> <p>1. 現在の欧米文化の元となる背景を理解している。</p> <p>2. それぞれの文化のかたち・特色を知っている。</p>	<p>3. 文化研究の方法論を知っている。</p> <p>4. 言語の重要性を認識し、社会人向けの英語を身につけている。</p>
<p>[ この授業の達成目標 ]</p> <p>言語の重要性を認識し、欧米諸国の背景や歴史を踏まえ、それぞれの文化の具体的な形を理解している。</p>	<p>[ 達成目標の評価方法と基準 ]</p> <p>上記の [ 知識・能力 ] 1 ~ 4 を網羅した問題を各定期試験とレポートで出題し、目標の達成度を評価する。達成度評価における各 [ 知識・能力 ] の重みの目安は 1, 2, 4 を 3 0 % , 3 を 1 0 % とする。合計点 6 0 % の得点で、目標の達成を確認できるレベルの試験を課す。</p>
<p>[ 注意事項 ] 授業中適宜に課題を与え、レポートを提出してもらう。</p>	
<p>[ あらかじめ要求される基礎知識の範囲 ] 特になし。</p>	
<p>[ 自己学習 ]</p> <p>授業で保証する学習時間と予習・復習 ( 中間試験と定期試験のための学習も含む ) 及び課題・レポート作成に必要な標準的な学習時間の総計が 4 5 時間に相当する学習内容である。</p>	
<p>教科書：なし</p> <p>参考書：適宜紹介</p>	
<p>[ 学業成績の評価方法および評価基準 ]</p> <p>後期中間、学年末の 2 回の試験の平均点を 7 0 % , 課題 ( レポート ) 3 0 % として評価する。再試験は行わない。</p> <p>[ 単位修得要件 ]</p> <p>与えられたレポートを提出し、学業成績で 6 0 点以上を取得すること。</p>	

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
中国語	平成20年度	仲井真喜子 川西笑華	5	前期	学修単位 1	選

[授業のねらい] 近年多くの企業が中国に進出し、英語に次ぐ外国語として、中国語の重要性も増してきている。正確な発音・基本的な文法を習得することにより、中国語による初歩的なコミュニケーションができるようにする。

[授業の内容] 全ての週の内容は、学習・教育目標(A) <視野> および JABEE 基準 1(1)(a)の項目に相当する。

第1週 中国及び中国語の概要 発音〔声調、単母音〕  
 第2週 発音〔子音 有気音・無気音・そり舌音〕  
 第3週 発音〔複合母音・n と ng の区別〕  
 第4週 間違えやすい発音 数字 簡単なあいさつ  
 第5週 第1課 人称代名詞 “是”の文  
 第6週 第1課 疑問文 否定文  
 第7週 第2課 指示代名詞(1) 疑問詞疑問文  
 第8週 第2課 “的”の用法 副詞の位置

第9週 前期中間試験  
 第10週 第3課 動詞の文 省略疑問  
 第11週 第3課 「所有」を表す“有”  
 第12週 第4課 形容詞の文 助数詞(1)  
 第13週 第4課 指示代名詞(2)  
 第14週 第5課 「完了」を表す“了”  
 第15週 第5課 「所在」を表す“在”  
 第16週 第6課 日付・時刻を表す語 動作の時点を言う表現

[この授業で習得する「知識・能力」]

- 1 基本的な単語のピンイン表記を見て発音することができる。
- 2 声調を聞き分けることができる。
- 3 単語の正確なピンイン表記ができる。
- 4 簡単なあいさつの会話ができる。

- 5 基本的な文型(“是”の文、形容詞述語文、動詞述語文)が理解できる。
- 6 疑問文(諾否)・否定文が理解できる。
- 7 「完了」を表す“了”が理解できる。

[この授業の達成目標]

中国語の発音の仕組みを理解し、正しく発音することができ、また、基本的な語順を理解し、簡単な文を作ることができる。

[達成目標の評価方法と評価基準]

[この授業で習得する「知識・能力」] 1～7の習得の度合を中間試験、期末試験、口答試験により評価する。各項目の重みは同じである。試験問題のレベルは、100点法により60点以上の得点を取得した場合に目標を達成したことが確認できるように設定する。

[注意事項] 教科書付属のCDを繰り返し聞く事。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲]

[自己学習]

授業で保証する学習時間と、予習・復習(中間試験、定期試験 口答試験)に必要な標準的な学習時間の総計が、45時間に相当する学習内容である。

教科書：中国語はじめの一步(白水社)及び配布プリント

参考書：授業時、随時紹介する。

[学業成績の評価方法および評価基準] 中間・期末の試験結果を80%、口答試験の結果を20%として、これらの平均値を最終評価とする。再試験は原則として行わない。

[単位修得要件] 与えられた課題、提出物を全て提出し、学業成績で60点以上を取得すること。

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
中国語	平成20年度	仲井真喜子 川西笑華	5	後期	学修単位1	選

[授業のねらい] 中国語 で学習した発音・文型を確実なものとし,さらに新しい文型,日常生活での身近な表現や語彙を身につける.

[授業の内容] 全ての週の内容は,学習・教育目標(A) <視野> および JABEE 基準 1(1)(a)の項目に相当する.

第1週 中国語 の復習 第7課 反復疑問文  
 第2週 第7課 介詞(1) 「存在」を表す“有”  
 第3週 第8課 助動詞“得” 介詞(2)  
 第4週 第8課 「時間量」を表す語  
 第5週 第9課 「過去の経験」を表す“過”  
 第6週 第9課 “是～的”の文 介詞(3)  
 第7週 第10課 「動詞の程度」を言う表現  
 第8週 第10課 助動詞“能”“会” 動詞のかさね型

第9週 後期中間試験  
 第10週 第11課 「動作の進行」を表す“在”  
 第11週 第11課 選択疑問文 目的語を文頭に出す表現  
 第12週 第12課 「比較」の表現  
 第13週 第12課 「類似」の表現  
 第14週 第13課 2つの目的語を取る動詞  
 第15週 第13課 “的”の用法  
 第16週 自己紹介 決まり文句

[この授業で習得する「知識・能力」]

- 1 時点と時間量の表現が理解でき,運用できる.
- 2 助動詞“能”“会”が理解でき,運用できる.
- 3 “過”“在”などのアスペクト表現が理解でき,運用できる.

- 4 「比較」「類似」の表現が理解でき,運用できる.
- 5 基本的な単語(漢字)を見て発音することができる.
- 6 簡単な会話の聞き取りができる.

[この授業の達成目標]

各文法事項を理解し運用でき,基本的な単語の発音,簡単な会話の聞き取りができる.

[達成目標の評価方法と評価基準]

[この授業で習得する「知識・能力」] 1～6の習得の割合を中間試験,期末試験,口答試験により評価する.各項目の重みは同じである.試験問題のレベルは,100点法により60点以上の得点を取得した場合に目標を達成したことが確認できるように設定する.

[注意事項] 教科書付属のCDを繰り返し聞く事.

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] ピンインを理解し,発音することができる.

[自己学習]

授業で保証する学習時間と,予習・復習(中間試験,定期試験)に必要な標準的な学習時間の総計が,45時間に相当する学習内容である.

教科書:中国語はじめの一步(白水社)及び配布プリント

参考書:授業時,随時紹介する.

[学業成績の評価方法および評価基準] 中間・期末の試験結果を80%,口答試験の結果を20%として,これらの平均値を最終評価とする.再試験は原則として行わない.

[単位修得要件] 与えられた課題,提出物を全て提出し,学業成績で60点以上を取得すること.